県道藤島由良線土砂崩れ災害対応かわら版

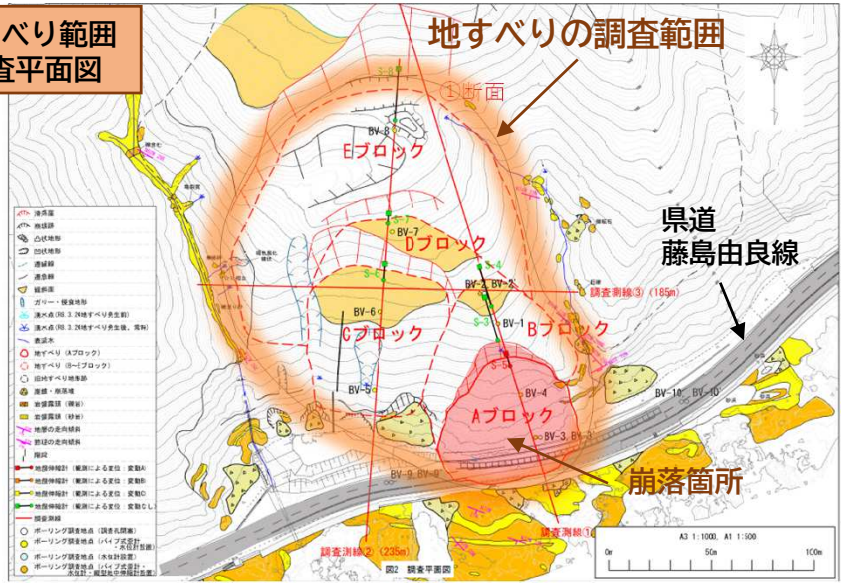
いまいずみ通信 Vol.3

令和８年11月発行

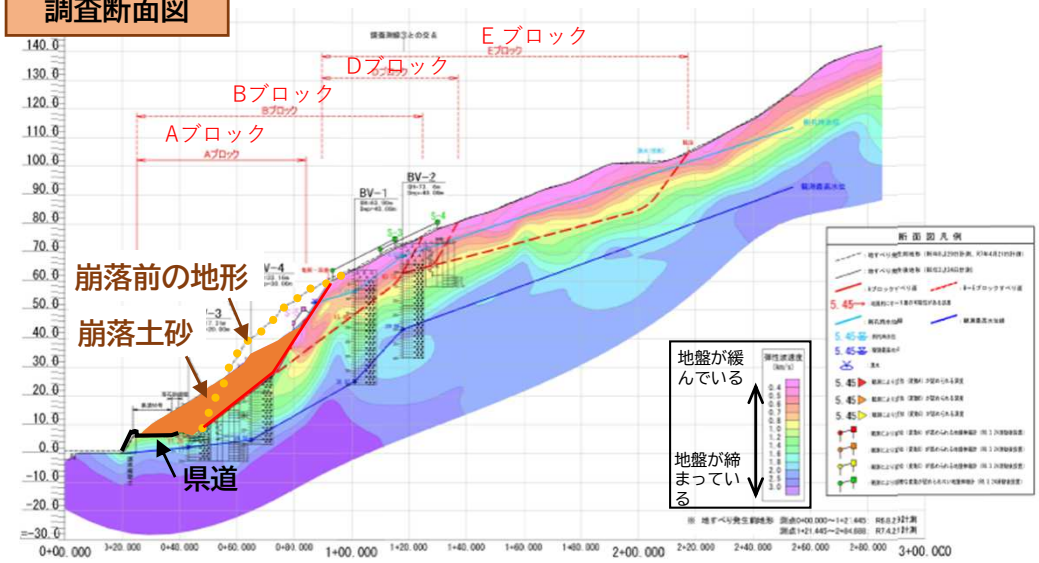
庄内総合支庁
建設部道路計画課
Tel:0235-66-5613

現在、地すべりの規模想定と対策工法の検討を行っています。

地すべり範囲 調査平面図



調査断面図



調査結果概要

▷ 今回の地すべりは３月に崩落した箇所の他に、広範囲にわたる可能性もあるため、崩落箇所（Aブロック）以外のエリア（B～Eブロック）についても観測・調査を行い危険性を確認する作業を行っています。

▷ 実施済みの地質ボーリング・弾性波探査の調査結果から、今回の崩落箇所のさらに上部の広い範囲で地盤が緩んでいることが確認されました。これらに加え、観測結果を基に、すべり面（この線を境に地盤が動くと予測される面）を設定してまいります。
また、復旧工法の検討においては、大雨や融雪期などで地下水位が上昇した状態での観測データが必要であるため、継続して観測してまいります。

▷ 道路上の崩落土砂を撤去するとその上の土塊が大規模に動く可能性があるため、慎重に検討を行い、対策工事を実施した上で復旧する必要があります。

地すべりは広範囲にわたる可能性
崩落箇所の上部で地盤に緩み
⇒ **土砂撤去すれば、更なる崩壊の危険性** ⇒ 対策工事を実施後に復旧が必要

対策工法の検討

▷ 現時点での地すべりの想定を基に、対策工法を検討しています。

▷ 対策工法は基本的に、山の斜面に地すべりの動きを抑える対策工を実施して道路を元の位置に復旧する案を検討しますが、観測結果などによりほかの候補となる場合もあります。

▷ 来春の融雪期まで観測を実施し、融雪時の挙動を確認した上で、県としての対策案を決定してまいります。

今後の対応予定

完了	実施中	実施中	来年度(予定)	来年度(予定)	
地質調査	地すべり範囲や規模の想定	対策の検討	復旧方法の決定（国による災害査定）	対策・復旧工事	完成・規制解除

地すべりの観測（融雪期まで） 実施中

▷ 県の対策案を決定後、国の災害査定等を経て復旧工事に進みます。